

趣旨説明



鹿児島大学病院 地域医療支援センター
鹿児島大学医歯学域医学系
地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター
大脇 哲洋



地域医療支援センター

第6次医療法改正（平成26年10月）

- ① 病床の機能分化・連携の推進
 - ・ 病床機能報告制度と地域医療構想の策定
- ② 在宅医療の推進
- ③ 特定機能病院の承認の更新制の導入
- ④ 医師・看護職員確保対策
 - ・ 地域医療支援センターの設置
- ⑤ 医療機関における勤務環境の改善
 - ・ 医療勤務環境改善支援センターの設置
- ⑥ 医療事故に係る調査の仕組み等の整備
- ⑦ 臨床研究の推進
- ⑧ 医療法人制度の見直し

鹿児島大学病院
地域医療支援センター



地域医療支援センターの役割

【地域枠医師のキャリア形成支援】
最新医療技術の習得機会が得られないことなどの地域枠医師の不安を解消し、地域医療への定着を図るため**キャリア形成支援**（専門医、認定医の取得等）を実施

【総合相談窓口と情報発信】
医師確保総合相談窓口として、県内外の医師や医学生、高校生などからの様々な相談に対応。HPを開設し、地域枠医師の募集、医療機関の求人、都道府県内の医師確保対策の内容等を情報発信

【指導医の養成と研修体制の整備】
高い能力の指導医の下で医療技術等の習得を希望に対応するため、**指導医を養成**し、地域医療機関等に計画的に配置する等、地域での研修体制を整備

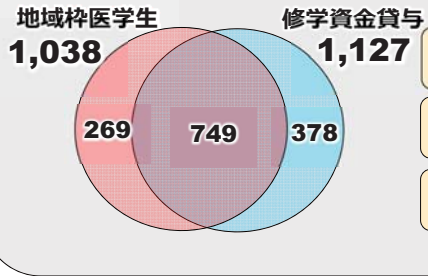
【医師のあっせん】
内外の医師の求職情報、医療機関の求人情報、求人医療機関の施設概要等の情報提供を通じて、地域医療従事希望医師の地域医療機関等へのあっせんを実施

【地域医療に従事する医師の支援】
研修・学会等への出席期間中の代替医師の手当てや中核病院での研修など地域医療に従事する医師の支援を実施

【地域医療関係者との意見調整】
地域医療支援センターの円滑な運営のため、県内の医療関係者（大学、中核病院、医師会等）の協力は不可欠であり、地域の医療提供体制確保のため、一体となって取り組む意見調整を実施

地域推薦枠医学生

平成26年度 医学部定員総数（計画）9,141名



- 自治医科大学 123名
- 産業医科大学 105名
- 防衛医科大学 80名

地域枠医学生は、H26年度各大学の入試情報の独自調査の数字

根路銘安ら、日本医師会雑誌 143：1223-2014

鹿児島大学病院
地域医療支援センター



地域推薦枠医学生



産婦人科	23	96%
救急	22	92%
小児科	21	88%
麻酔科	20	83%
整形外科	20	83%
外科	20	83%
内科	18	75%
泌尿器	17	71%
脳神経外科	16	67%
総合診療	16	67%
精神神経	16	67%
耳鼻咽喉	16	67%
眼科	16	67%
皮膚	15	63%
リハビリ	14	58%
病理	14	58%
形成外科	14	58%
臨床検査	12	50%
放射線科	10	42%

- ・ 県内にとどまてほしい
青森、秋田、福島、群馬、山梨、静岡、岐阜、三重、鳥取
- ・ 地方での医師不足に対応してほしい
北海道、宮城、埼玉、東京、愛知、奈良、大阪、島根、高知、福岡、佐賀、大分、鹿児島、宮崎、沖縄

鹿児島大学病院
地域医療支援センター

地域推薦枠医学生

- ・ 県内にとどまてほしい
青森、秋田、福島、群馬、山梨、静岡、岐阜、三重、鳥取
 - ・ 地方での医師不足に対応してほしい
北海道、宮城、埼玉、東京、愛知、奈良、大阪、島根、高知、福岡、佐賀、大分、鹿児島、宮崎、沖縄
- 地方の中核病院/診療所の医療には**総合診療科**が適している

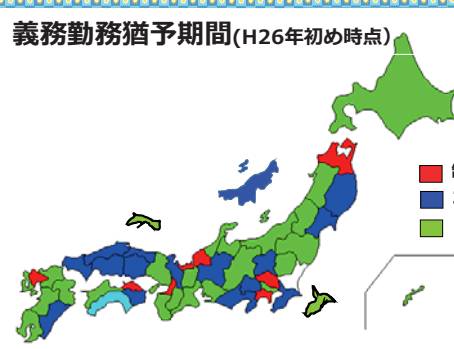
新専門医制度
・ 研修医2年目の終わりには専攻医申請
・ 3年目には速やかに専攻医研修
・ 専攻医研修期間に制限がある診療科も存在

地域枠の**義務履行期間**には制限がある

鹿児島大学病院
地域医療支援センター



地域推薦枠医学生



鳥取、千葉、新潟は複数の制度で異なる。自治体内で最も人数が多い制度を元位置に記載
茨城県は未回答

鹿児島大学病院
地域医療支援センター

地域枠医学生に関わる 地域医療支援センター

- ・ 地域枠卒業医師のキャリア形成の責任
- ・ 希望を持った医師育成
- ・ 「貸与金変換」とならないように
- ・ 「地域医療」「地域枠卒業医師」がWin Winの関係に

地域枠卒業医師が希望を持って地域医療に心置きなく従事し、義務後に夢を持てる制度にしたい。

現場の声（懸念）
学生の声（懸念）
今後の医療政策へ活かしていただきたい

鹿児島大学病院
地域医療支援センター

